

属人区長のメッセージ（2020年1月5日）

新年にあたり、フェルナンド・オカリス神父はメッセージを出し、私たちへの神の愛を深く黙想するよう励まします。

2020/01/05

愛する皆さんへ。イエスが私の子供たちを守ってくださいますように！

新年の初めに当たり、聖ホセマリアの言葉を思い出したことでしょう。「新しい年、新しい戦い！」確か

に、私たちの努力の伴った戦いが必要ですが、何よりもまず、神の恩恵が必要です。「良い土地」（マタイ13,8）になる望みを持って種蒔きのたとえばなしに目をとめましょう。神のたまものである種を受け入れ、豊かに実るためです。イエスは日々、ご聖体においてこのたまものを与えてくださいます。

カファルナウムの会堂において主は仰いました。「人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない」（ヨハネ6,53）。この一年を始める良い方法は、より深く感謝を込めて、私たちへの神の愛に対する信仰を現実化させることです（1ヨハネ4,16参照）。その愛はご聖体の秘跡において見えるものとなりました。こうして、種を受け入れるために「良い土地」となるための戦いを相応しく進めていくことができるでしょう。

イエス・キリストに目を向けましょう。私たちはあまりにも小さな者であるにもかかわらず、主は新しい力と喜びで私たちを満たしたいとお望みです。

愛情を込めて祝福を送ります。

あなたがたのパドレ

フェルナンド

ローマ、2020年1月5日

PDF式ダウンロード（日本語とスペイン語）

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkucho-messege-2020-1/>
(2026/02/02)